

ご利用にあたって

お買い上げいただきありがとうございます。

ISO 規格 9.2 内部監査では、次の情報をトップマネジメントや関連部署に提供するために実施すると定められています。

a) 次の事項に適合していること

- 1) 該当するマネジメントシステムに関して、組織自体が要求した要求事項
- 2) ISO 規格の要求事項

b) 有効に実施され、維持されている。

a)項は適合性、即ち ISO 規格の要求事項や、自組織のルール・取決め・マニュアル・手順や、顧客要求、法規制要求で求められていることが確実に、かつ適切に行われ、見直しも含め維持しているかを確認することです。

b)項は有効性、即ち計画された活動が計画通り実施されて、その「結果」や「成果」が望ましいものになっているかを確認することです。

計画され活動とは

ISO9001 規格が定めたマネジメントシステムの適用目的が「1 適用範囲」に記載されています。

a) 組織が、顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を満たした製品及びサービスを一貫して提供する能力をもつこと。（品質保証された製品及びサービスを一貫して提供できること）

b) 組織が、品質マネジメントシステムの改善のプロセスを含むシステムの効果的な適用、並びに顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項への適合の保証を通して、顧客満足の上を目指す。（顧客満足の上を目指すこと）

その他、組織自身が定めた計画された活動があります。リスク及び機会の取組みや品質目標及びそれを達成する規格に定められています。

ISO14001 規格が定めたマネジメントシステムの適用目的が「1 適用範囲」に意図した成果として次の3項目が記載されています。

- － 環境パフォーマンスの向上
- － 順守義務を満たすこと
- － 環境目標の達成

本チェックリストは、ISO 規格の要求事項に対して適合しているかどうかをチェックするように作成されています。

有効性に関しては、リスク及び機会の取組みや品質目標の達成状況の確認の欄で確認するようになっていますが、ISO 規格の意図した成果に対する有効性に関しては、個々の監査ではなく管理責任者が全体を俯瞰してマネジメントレビューに情報提供することになります。

本チェックリストは、質問項目に対する判断基準として、右側に規格の要求事項を記載していますが、可能であれば、この質問内容を組織のマニュアルの記載内容・手順書名・帳票名等 貴社が定めた言葉に置き換えていただければ、より効果的に活用することが出来ます。